

食害に  
目をつむるか。

散布する薬剤を  
変えるか。

新規\*作用の成分で2週間食害を防ぐ。

# グレーシア<sup>®</sup>

## フロアブル

果樹用  
殺虫剤



ミカンサビダニ被害



ゴマダラカミキリ成虫

- 有効成分フルキサメタミド配合。
- アザミウマ、カミキリ、サビダニなどの害虫に卓効。





大切な果実を害虫から守りたい。  
でも、殺虫剤の散布回数はこれ以上増やせない。  
そんな忙しいかんきつ生産者のために。  
グレースィアフロアブルは、新規<sup>\*1</sup>作用の成分で  
約2週間にわたり害虫を駆除。  
さらに、アザミウマ、カミキリ、サビダニ、  
ホコリダニなどを同時に防除できます。  
長く効く。幅広い害虫に効く。  
果樹用殺虫剤グレースィアフロアブルの、約束です。



果樹用殺虫剤

# グレースィア<sup>®</sup>フロアブル

農林水産省登録 第24743号

有効成分:フルキサメタミド10.0% (IRAC分類グループ30<sup>\*1</sup>)

人畜毒性:普通物<sup>\*2</sup>

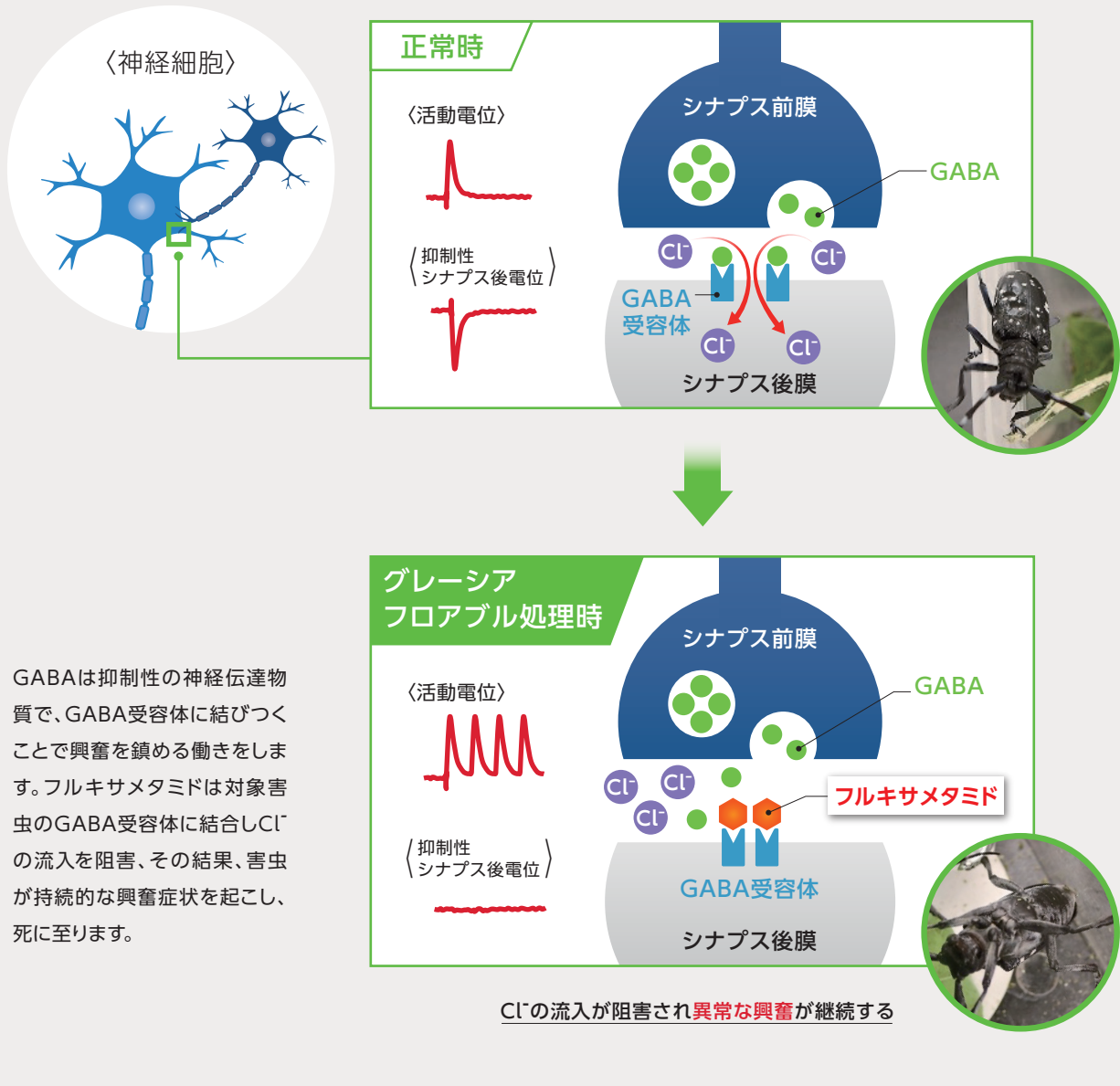
容量:250ml入

<sup>\*1</sup> 果樹用として新規の作用性です。<sup>\*2</sup> 毒劇物に該当しないものを指している通称。

# 新規\*作用の成分「フルキサメタミド」が、幅広い害虫から約2週間、果実を守ります。

\*果樹用として初めてIRAC30に分類。

IRAC番号「30」: GABA作動性Clイオンチャンネルアロステリックモジュレーター



これがグレースィアフロアブルの新しい作用。  
わずかな量でも害虫に興奮症状をもたらし、  
樹から落とすことができます。  
だから、約2週間、食害を防ぐことができます。

# 害虫を樹から落とし、食害から守ります。

優れた効果が長く続くグレースフロアブル。

その秘密は、新規作用の成分「フルキサメタミド」のメカニズムにあります。

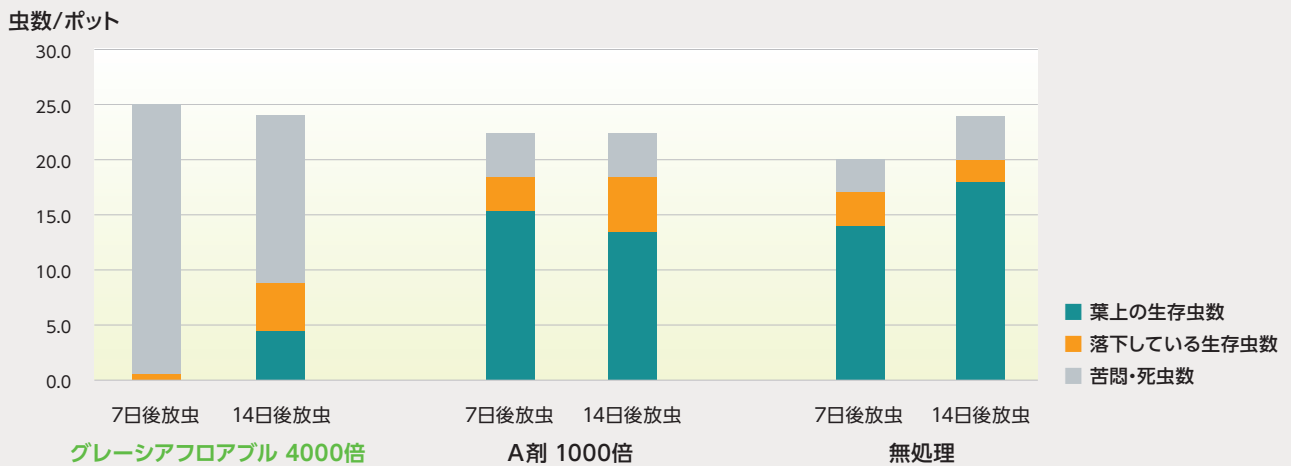
「フルキサメタミド」は害虫に興奮症状を引き起こし、

死に至らしめることが特長。殺虫効果は散布後、徐々に低下しますが、

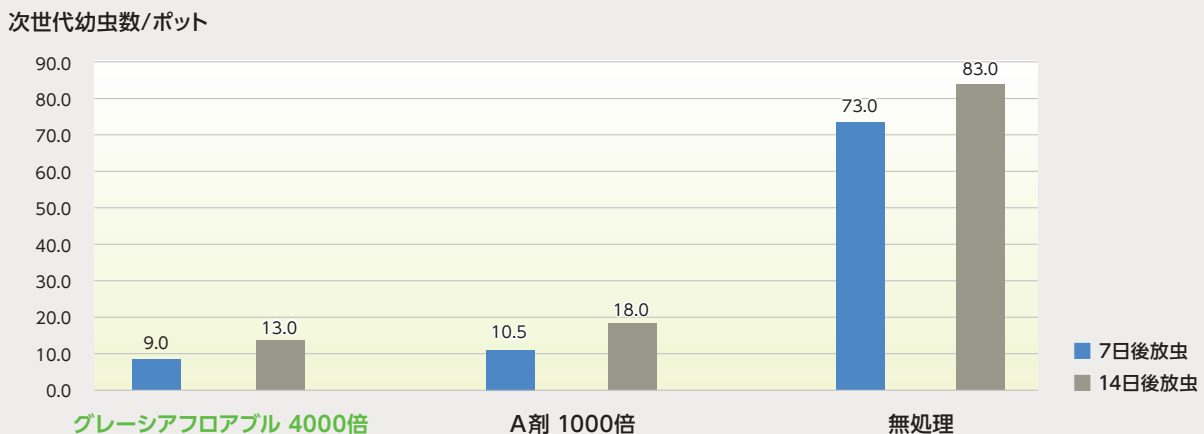
わずかな量でも害虫は歩行異常を起こすため、

害虫は樹にとどまることができず、落下します。

フルキサメタミドの作用性により約2週間、植物体からアザミウマを落とし続けます。



さらに、次世代幼虫の密度を減らすことにもつながります。



## 【試験概要】

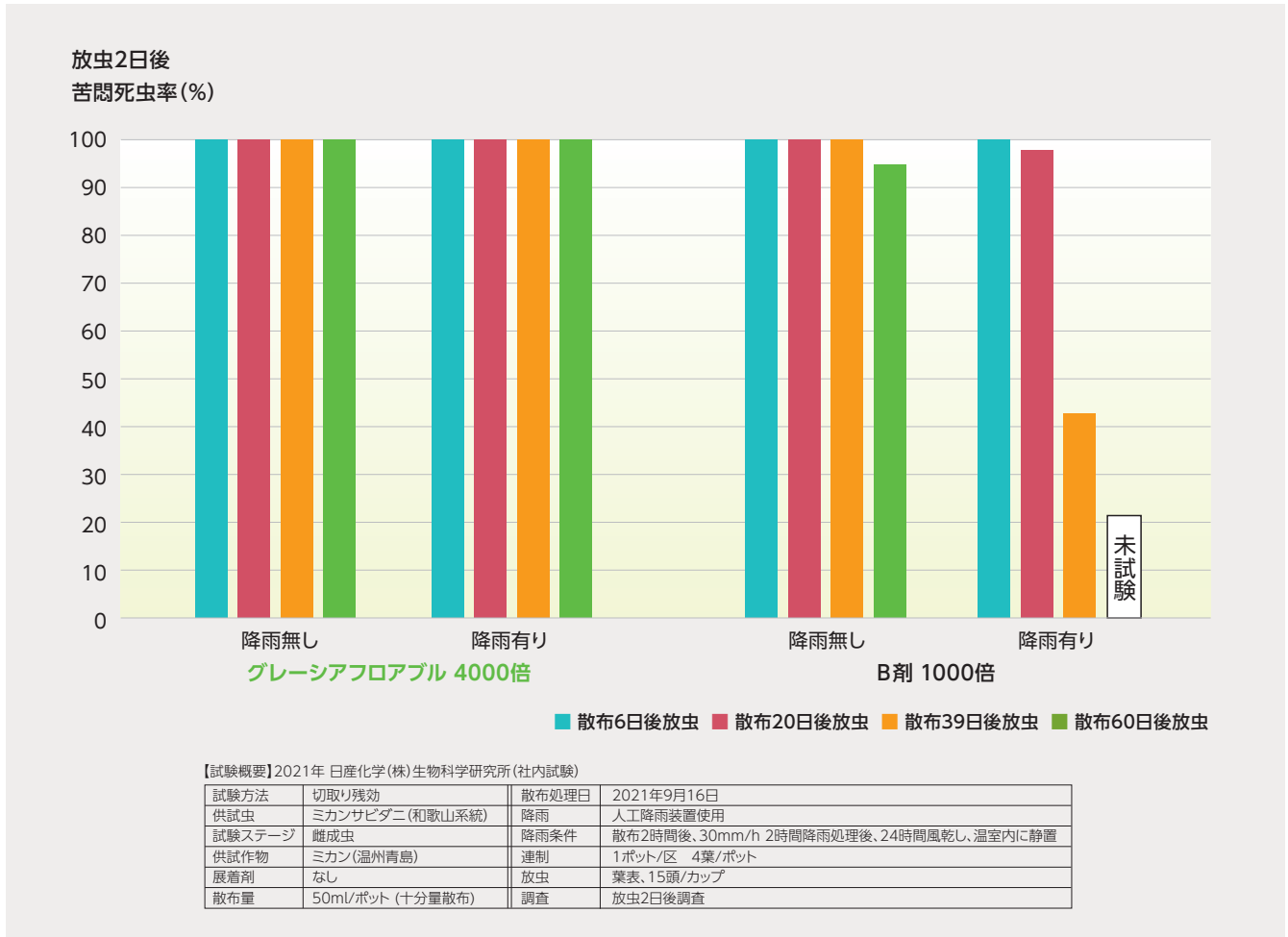
試験場所	日産化学(株)生物科学研究所	調査日	2022年11月9日、11月14日
供試虫	ミカンキイロアザミウマ	散布量	10ml/ポット
試験ステージ	成虫(雌雄混合)	試験方法	小スチロール植えのいんげん*を各2葉の2株植えに調整。2連制で実施。スプレーガンで薬剤を十分量散布(展着剤なし)し、ケージに斜めに設置、ミカンキイロアザミウマ成虫をケージあたり約50頭放虫。ガラス室で管理。放虫2日後に葉上および箱底面の成虫数、6日後に葉上の幼虫数を調査。
供試作物	いんげん*		
連制	2連制		
処理日	2022年10月24日、31日		
放虫日	2022年11月7日(約50頭/株)		

\*害虫を放飼するためいんげんを使用。いんげんへの防除効果をうたうものではありません。



# 優れた耐雨性も効果が持続する理由です。

耐雨性に優れたグレースシアフロアブルは、雨が降っても効果が落ちづらい薬剤です。



## グレースシアフロアブルの基本情報

### 農薬の種類及び名称

種類：フルキサメタミド水和剤 名称：グレースシアフロアブル

### 農薬の物理的・化学的性状

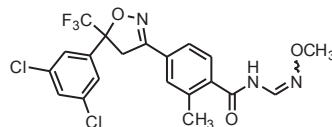
類白色水和性粘稠懸濁液体

### 農薬の有効成分の種類及び含有濃度

4-[(5*R*,5*S*)-5-(3,5-ジクロロフェニル)-4,5-ジヒドロ-5-(トリフルオロメチル)-1,2-オキサゾール-3-イル]-*N*-[(*E*,*Z*)-(メトキシイミノ)メチル]-*o*-トルアミド…10.0%

### 有効成分の一般名と化学構造式

一般名：フルキサメタミド (ISO Common name: fluxametamide)



### IRAC番号

[30] GABA作動性Clイオンチャネルアロステリックモジュレーター

## グレースシアフロアブルの安全性

### 人畜への安全性

急性毒性：経口・ラット・LD50 雌 >2000mg/kg  
経皮・ラット・LD50 雄雌 >2000mg/kg

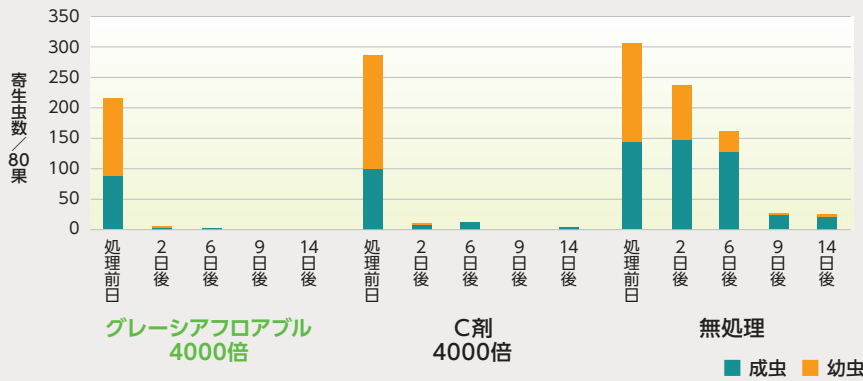
### 環境に対する安全性

コイ：急性毒性 96 時間 LC50 >1000mg/L  
オオミジンコ：急性遊泳阻害48時間 EC50 84mg/L  
藻類：Pseudokirchneriella subcapitata 生長阻害72時間 ErC50 342mg/L

# 優れた食害防止効果が2週間続きます。

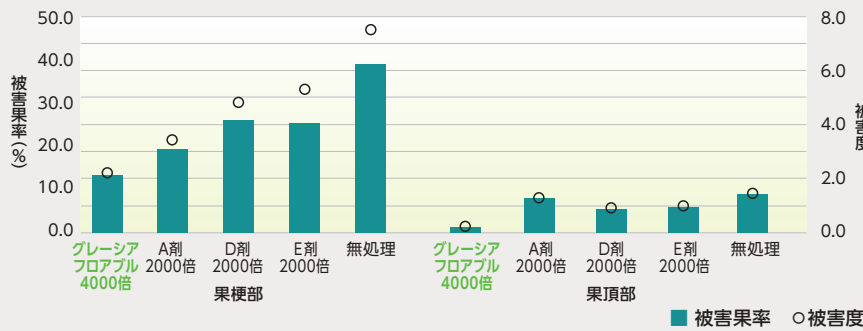
フルキサメタミドの作用性により、  
害虫の食害から作物を守り続けます。

## アザミウマへの効果は2週間持続



### 【試験概要】

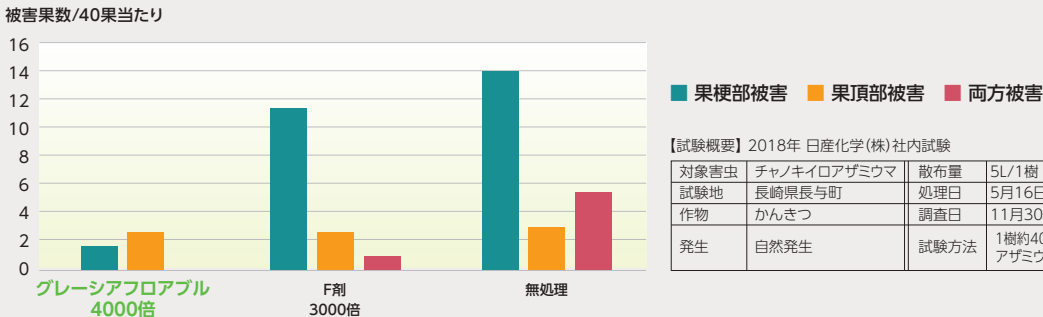
対象害虫	ミカンキイロアザミウマ
試験年度	2018年
試験場	愛知県農業総合試験場
作物	かんきつ
耕種概要	施設 18年生
発生状況	多発生
区制	1区1樹2連制
処理日	6月20日
処理量	5L/1樹
調査方法	1樹40果 成幼虫数調査



### 【試験概要】

対象害虫	チャノキイロアザミウマ
試験年度	2022年
試験場所	和歌山県有田市 (クミアイ化学工業(株)社内試験)
作物	かんきつ
発生状況	自然発生
処理日	6月30日、7月13日
連制	1区3反復
調査方法	2回目散布26日後に各区50果の被害を調査。果梗部、果頂部の被害を無・少・中・多に分けて調査。
被害度計算式	$((少 \times 1 + 中 \times 3 + 多 \times 6) / 調査果数 \times 6) \times 100$

## アザミウマの被害から果実を守る



### 【試験概要】 2018年 日産化学(株)社内試験

対象害虫	チャノキイロアザミウマ	散布量	5L/1樹 3連制
試験地	長崎県長与町	処理日	5月16日、6月17日
作物	かんきつ	調査日	11月30日
発生	自然発生	試験方法	1樹約40果について、果梗部および果頂部のアザミウマによる被害有無を調査した。

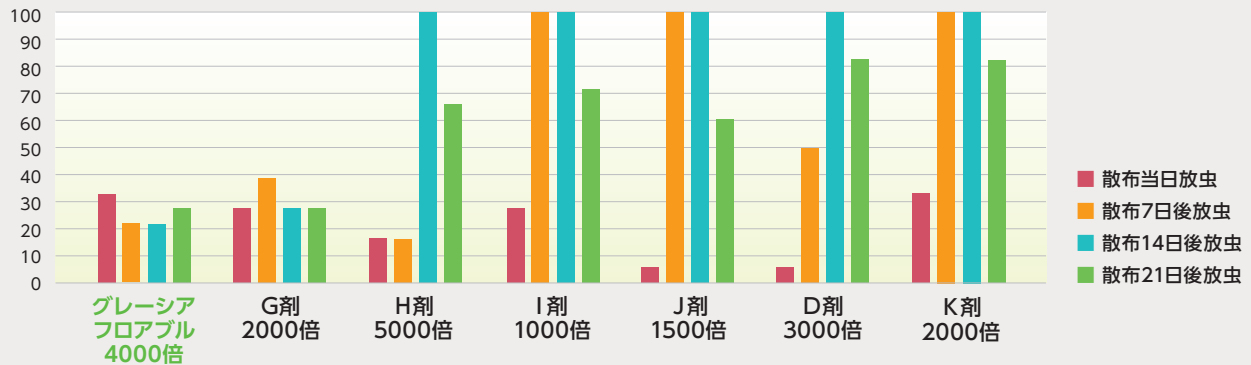
\*3連制の内1連を撮影したものです。





## ゴマダラカミキリへの効果は2週間以上持続

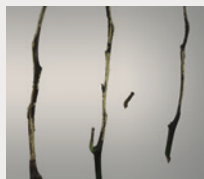
食害度 (%)



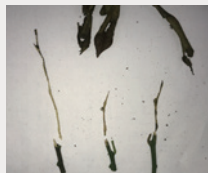
グレースシアフロアブル 散布21日後放虫



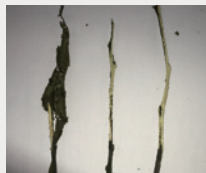
G剤散布21日後放虫



H剤散布14日後放虫



I剤散布7日後放虫



J剤散布7日後放虫



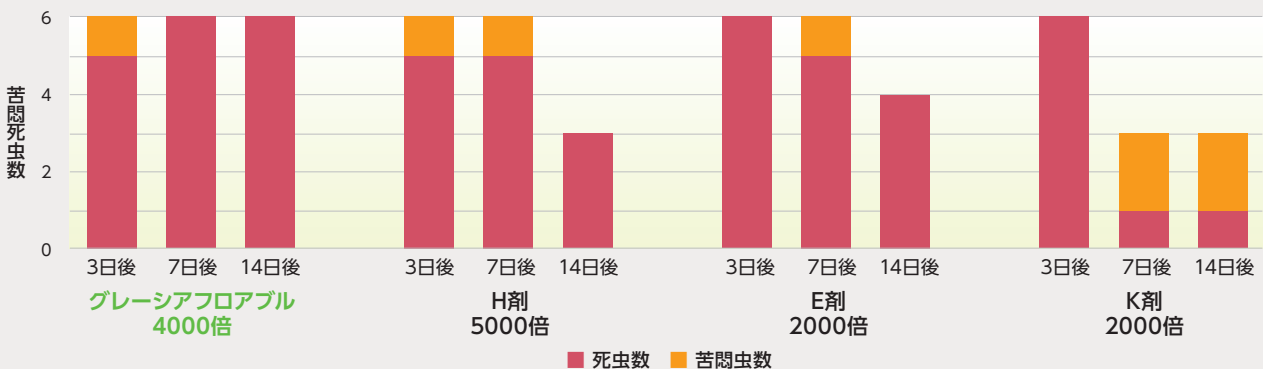
D剤散布14日後放虫



K剤散布7日後放虫

### 【試験概要】

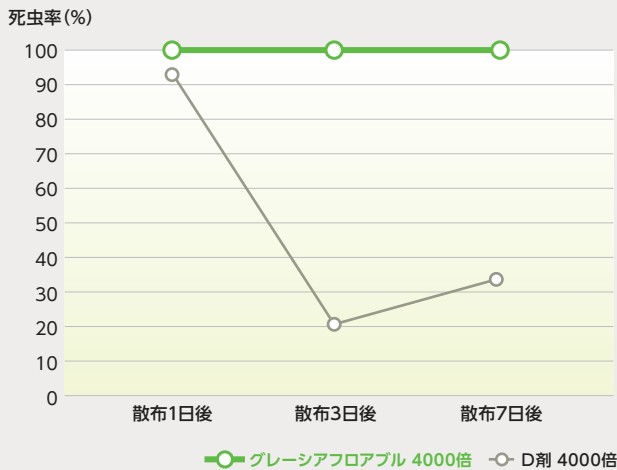
対象害虫	ゴマダラカミキリ成虫
試験年度	2022年
試験場	佐賀県太良町 (日産化学社内試験)
作物	かんきつ
発生状況	現地採集個体を放虫
散布量	5L/1樹 1連制
処理日	6月23日
放虫日	6月23日、30日、7月7日、14日
試験方法	枝3本を所定日に切り取りケージに入れ、対象害虫5頭前後を放虫。放虫7日後に調査。



### 【試験概要】

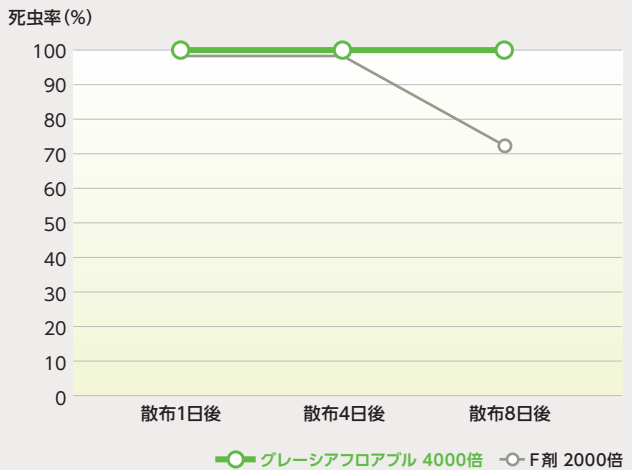
試験場所	クミアイ化学工業(株)生物科学研究所 ガラス温室(社内試験)
供試虫	ゴマダラカミキリ(2022年静岡県浜松市北区三ヶ日町岡本で採集)
供試植物	かんきつ(品種:興津早生)、樹高80cm程度
処理日	2022年6月24日
処理方法	1m <sup>2</sup> の区画内にかんきつポットを置き、予め希釈調製した薬液(展着剤無加用)300ml 300L/10a)相当を区画内にまんべんなく散布した。散布には自動散布装置を用いた。
連制	1区2連制
調査方法	かんきつに金属製の網をかぶせ、隙間をビニール袋などで覆って脱走できないようにした。この中に供試虫3頭(雌雄問わず)を放虫した。放虫4日後に供試虫の状態(死亡、異常)を確認し、食害度を評価した。

## ゴマダラカミキリへの効果 外部委託試験でも確認



【試験概要】 2019年 愛媛県農林水産研究所果樹研究センター

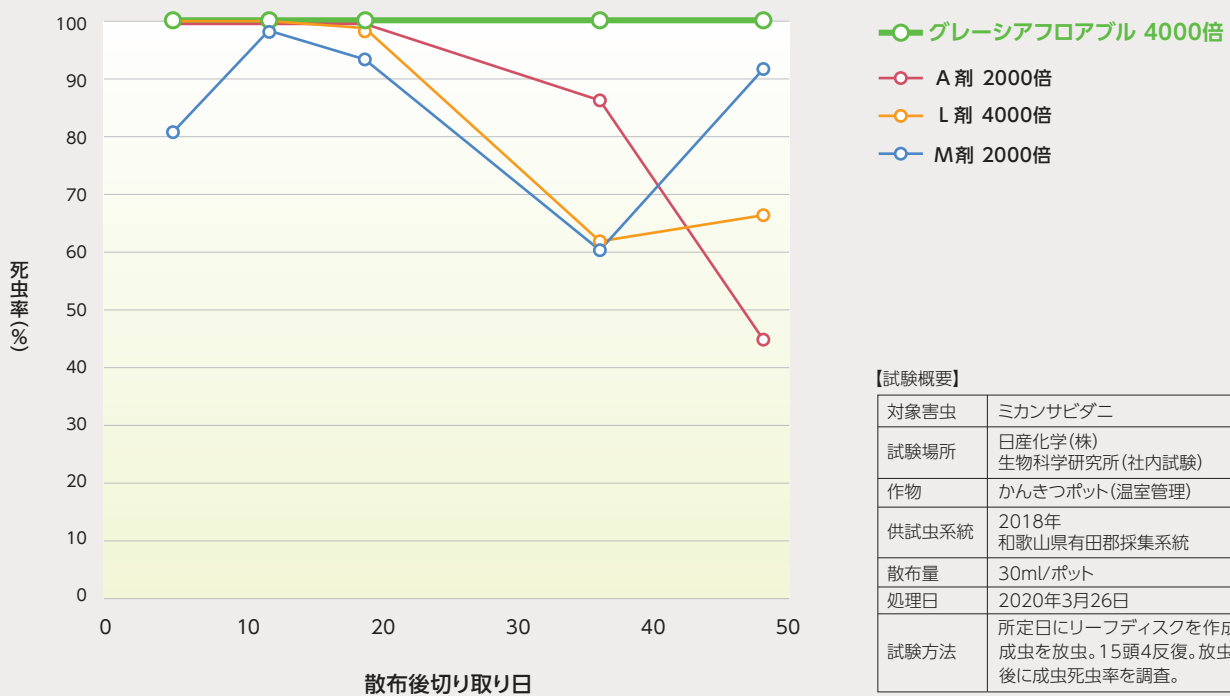
栽培	かんきつ露地
発生状況	多発生(放虫)
区制	1区1ポット3反復
処理日	6月10日、14日、16日
処理量	0.5L/1樹
調査日	6月17日放虫。3日後調査。
調査方法	ポット全体を袋で覆い、成虫5頭放飼。



【試験概要】 2019年 佐賀県果樹試験場

栽培	かんきつ露地
発生状況	多発生(放虫)
区制	1区1ポット3反復
処理日	6月20日
処理量	0.5L/1樹
調査方法	ポット全体を袋で覆い、成虫5頭放飼。2日後調査。

## ミカンサビダニへの効果は2週間以上持続



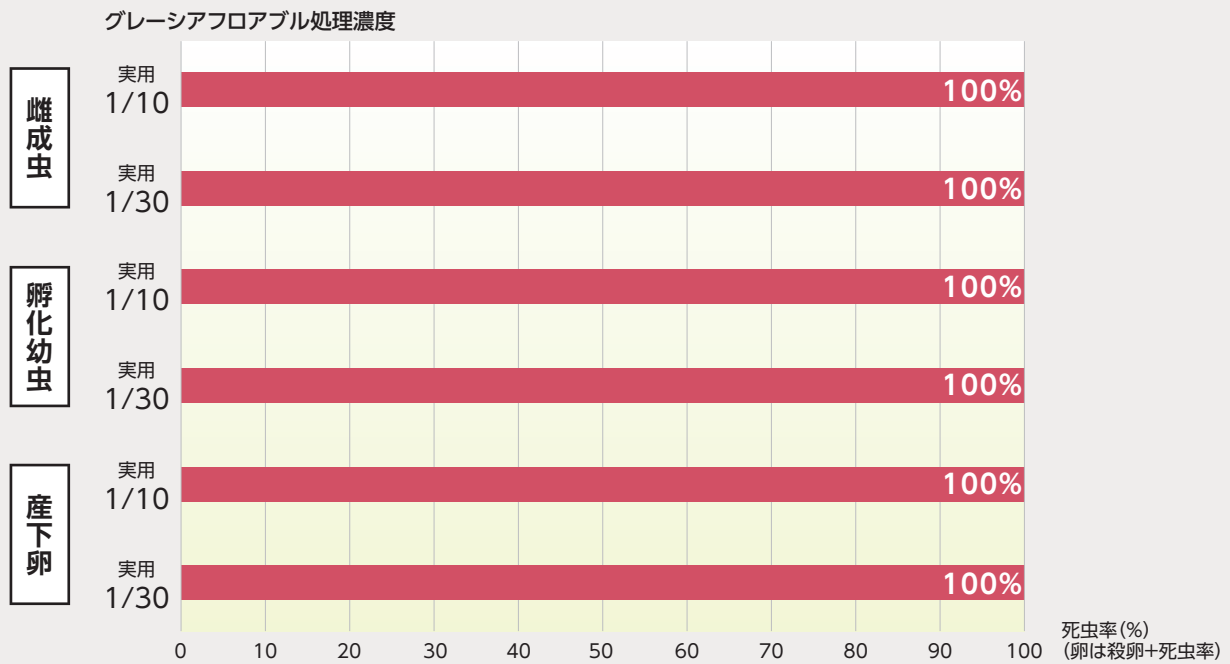
【試験概要】

対象害虫	ミカンサビダニ
試験場所	日産化学(株) 生物科学研究所(社内試験)
作物	かんきつポット(温室管理)
供試虫系統	2018年 和歌山県有田郡採集系統
散布量	30ml/ポット
処理日	2020年3月26日
試験方法	所定日にリーフディスクを作成し、成虫を放虫。15頭4反復。放虫3日後に成虫死虫率を調査。



## ミカンサビダニの卵・幼虫・成虫に卓効

ミカンサビダニの卵・幼虫・成虫すべてに効くので、安定した効果が長く続きます。

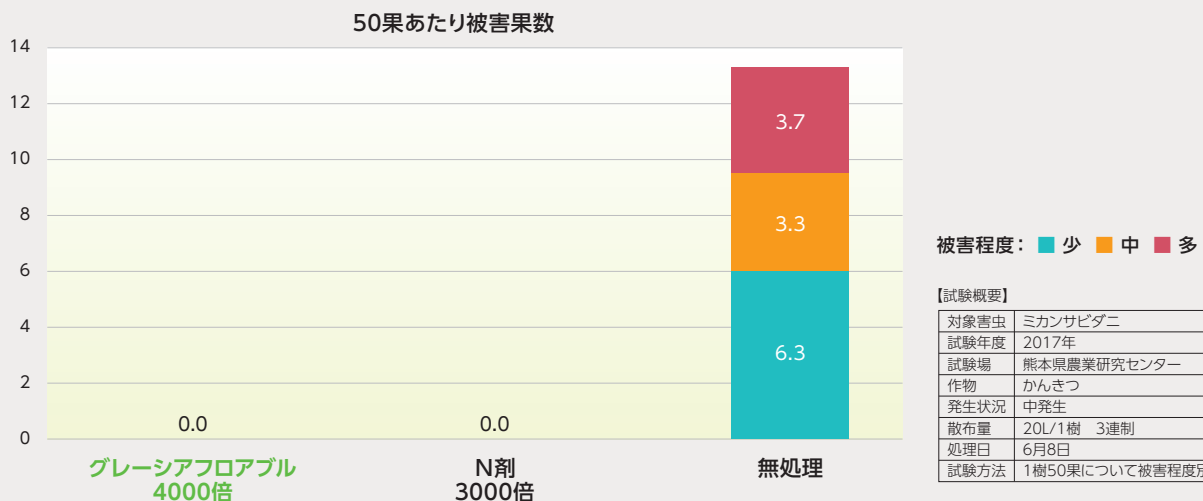


※ミカンサビダニ各ステージへの活性を見るため、本試験では実用より低濃度で処理しています。実用濃度以下での散布を推奨しているわけではありません。

【試験概要】 2022年 日産化学(株)生物科学研究所(社内試験)

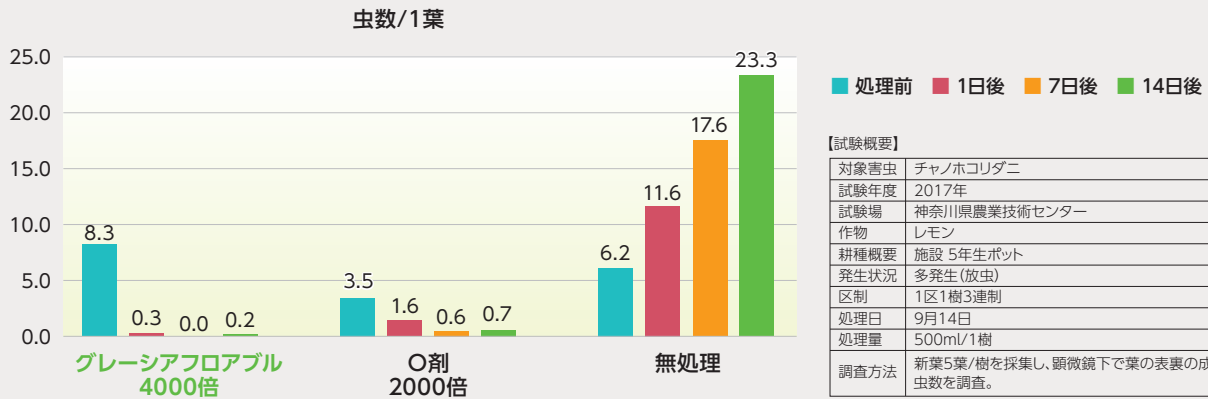
供試虫	ミカンサビダニ(2018年和歌山県有田郡採集系統)
連制	10頭以上2反復
リーフディスク	ミカン葉表、4号コルクポーラー
散布量	2.5ml/カップ

## ミカンサビダニによる果実の被害を抑制

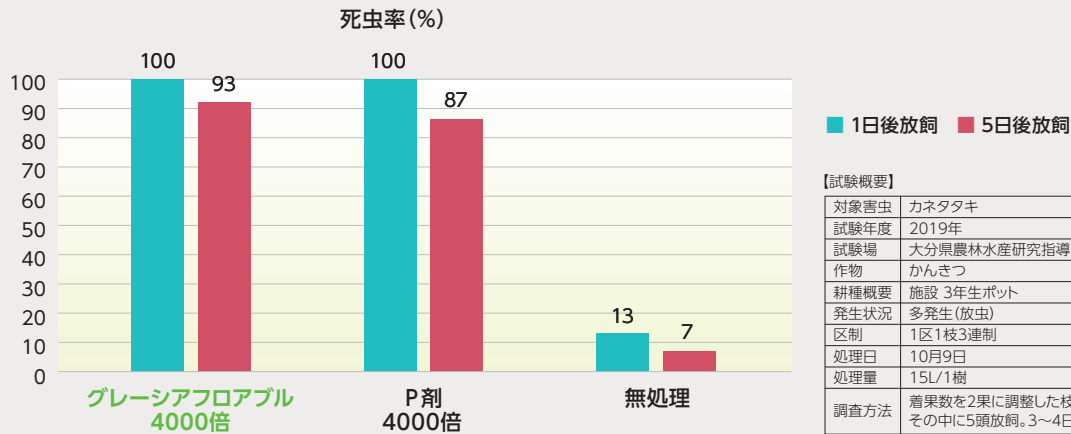


## 他にもさまざまな害虫の被害を抑制

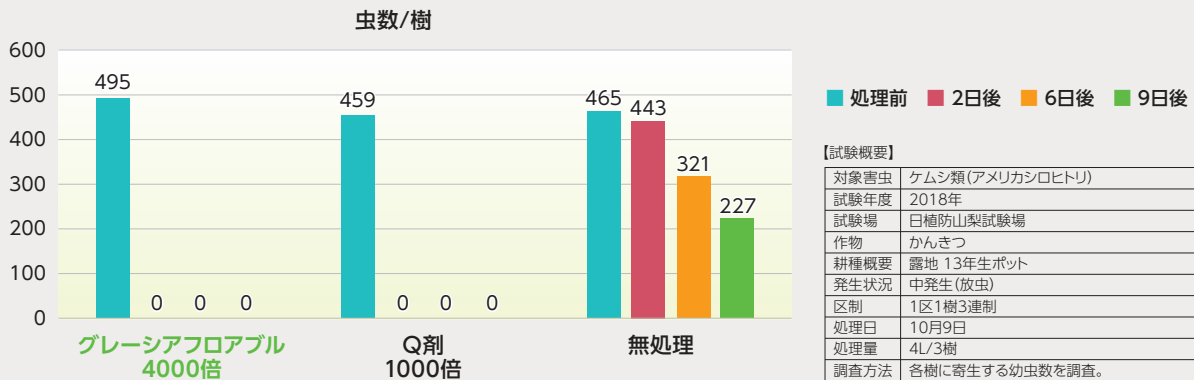
### チャノホコリダニ 圃場試験



### カネタタキ 圃場試験



### ケムシ類(アメリカシロヒトリ) 圃場試験





# 多くの委託試験で効果が確認されました。

数多くの委託試験で認められた、  
グレースィアフロアブルの効果を実感してください。

作物	害虫	判定					
かんきつ	ゴマダラカミキリ	A	A	A	A	B	B
	チャノキイロアザミウマ	A	A	B	B		
	ミカンキイロアザミウマ	A	A				
	ミカンサビダニ	A	A	A	A	B	
	チャノホコリダニ	A	A	A	A	A	B
	カネタタキ	A	A	A	A	C	C
	クワゴマダラヒトリ	A	A	A	B	B	
	ケムシ類	A	A	A			
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	A	A	A	A	B	C
	ハスモンヨトウ	A	A	A	A	A	A
もも	ハマキムシ類	A	A	A	A	A	A
あんず	ケムシ類	A	A	A			
うめ	ケムシ類	A	A	A			
すもも	ケムシ類	A	A	A			

## ■ 適用害虫と使用方法

\*本剤及びフルキサメタミドを含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量 (/10a)	使用時期	使用方法	総使用回数*
かんきつ	アザミウマ類、ゴマダラカミキリ成虫、カネタタキ、ケムシ類 チャノホコリダニ、ミカンサビダニ	4000倍	200~700L/10a	収穫7日前まで	散布	2回以内
ぶどう	ハスモンヨトウ、チャノキイロアザミウマ			収穫14日前まで		
もも類	ハマキムシ類					
小粒核果類	ケムシ類					

## ■ 使用上の注意事項

- 使用前によく振ってから使用する。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ、調節する。
- 本剤は植物体への浸透移行性がないので、かけ残しのないように葉の裏表に十分に散布する。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ぶどうで使用する場合、無袋栽培は果実肥大中期(あずき大)以降、有袋栽培は果実肥大中期(あずき大)以降袋掛け前までの散布では、果粉の溶脱が生じることがあるので、十分注意する。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

# 新規\*作用の成分で2週間食害を防ぐ グレーシア®フロアブル

農林水産省登録 第24743号 有効成分 フルキサメタミド…10.0% 人畜毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称) 容量：250mL入



グレーシアフロアブルは、新規\*成分フルキサメタミド(IRAC30)を配合した果樹用殺虫剤です。

新規\*作用の成分を配合しています。

既存の殺虫剤が効きづらくなった害虫にも優れた効果を示します。

約2週間害虫の食害から作物を守ります。

殺虫成分がわずかな量でも害虫に異常をきたすため、害虫は樹にとどまることができず、落下します。そのため食害防止効果は約2週間持続します。

アザミウマだけでなくサビダニやカミキリにも卓効です。

これら害虫を同時に防除することが可能になります。

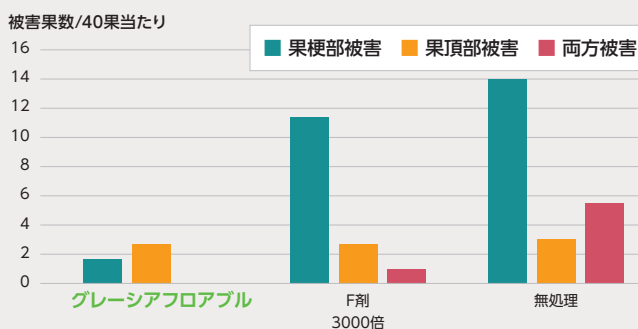
\*果樹用として

## アザミウマの被害から大切な果実を守ります。

【試験概要】2018年 日産化学(株)社内試験

対象害虫	チャノキイロアザミウマ	散布量	5L/1樹 3連制
試験地	長崎県長与町	処理日	5月16日、6月17日
作物	かんきつ	調査日	11月30日
発生	自然発生	試験方法	1樹約40果について、果梗部および果頂部のアザミウマによる被害の有無を調査した。

\*3連制の内1連を撮影したものです。



●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



日産化学株式会社

東京都中央区日本橋二丁目5番1号  
ホームページ <https://www.nissan-agro.net/>  
お客様窓口 TEL.03-4463-8271 (9:00~17:30 土日祝日除く)